

3月に入り、ようやく春の訪れを実感するようになりました。今年の冬は、例年になく寒い日が多かったように思います。北陸地方などでは、大雪や低温により日常生活への影響もかなりあったようです。自然現象とはいえ、改めてその厳しさを感じた今年の冬でした。それでも6日（火）は啓蟄、21日（水）は春分と暦の上では春の文字がおどります。待ちわびた春です。

では、学校通信「気風創造」3月号をお届けいたします。



= 1年間を振り返って =

去る2月21日（水）に、本年度3回目の「学校関係者評価委員会」を開催いたしました。授業参観の後、本年度の取組について学園側から説明した後、児童や保護者、職員の自己評価をもとに意見を伺い、全体の評価をしていただきました。評価していただいた委員は、井上千穂子さん、多津田清丸さん、山田恭一郎さん、大野さよ美さん、（鴨田昌幸さんは都合で欠席でした）4名の皆さんでした。

協議は「①キャリア教育の確立②たくましさの育成③学力向上④体力向上と健康・安全教育の充実⑤家庭や地域との連携」という5つの視点で進めましたが、おおむね高い評価をいただきました。本年度は、昨年度までの基盤に立った「つなぐ」教育活動を展開してきましたが、これをもとに平成30年度はさらに進化した学校づくりを目指していきたいと考えます。アンケート等にご協力いただいた保護者の皆様、評価委員の皆様、ご多用な中ご協力いただき本当にありがとうございました。次年度もよろしくお願い申し上げます。



【評価委員の皆さんです】

学校関係者評価委員会を開催しました

うれしい15の春を



1月末の私立高校の入学試験に始まり、2月はじめの県立高校推薦入学試験、そして今月初めの県立高校一般入学試験と、9年生は厳しい入試を経験してきました。学力検査の他面接試験もあり、自分の考えを相手にしっかりと伝える練習もしてきました。すべては、将来の夢や希望をかなえるためです。その大きな第一歩を踏み出した9年生。すべての試験結果が分かるのは卒業式後となります。それぞれの進学先は、ホームページ上でお知らせすることとします。ともに過ごしてきた美郷北学園での生活も残りわずかとなりました。どうか11名全員がうれしい春を迎えられますよう、ただただ祈るばかりです。

先生たちもがんばりました！

町教育研究論文

2月22日(木)、平成29年度美郷町小・中学校教職員教育研究論文表彰式が開催されました。これは、美郷町に勤務する先生方が日頃の教育活動への取組を論文にまとめたものを表彰するもので、美郷町では在任中1回以上の応募を求めています。今年は全体で36編(昨年度は18編)の応募があり、そのうち20編が北学園の先生方でした。結果、複数の先生方がみごとに入賞され、学校賞もいただきました。

子どもたちの部活動や作品づくりにおける表彰ももちろんうれしいのですが、日々多様な業務の中、教えるプロとしてこうした研究にも熱心に取り組む先生方の熱意に、改めて敬意を表します。以下、応募された先生方の研究テーマをご紹介します。

- ◇ 宮本 一郎 教頭「児童が意欲的に主体的に学習に取り組む理科教育の研究」
- ◇ 宇都宮茂樹 教頭「学校と地域の連携・協働に関する一考察」
- ◇ 加治屋慶史 先生「言葉に拘る姿勢をもった生徒の育成」
- ◇ 日野希代子 先生「自立に向けて生き生きと生活し、学習できる児童の育成」
- ◇ 河野友梨香 先生「健康に関心をもち、自分の力で健康的な生活習慣を実践する
幼児児童生徒の育成」
- ◇ 齊藤 正行 先生「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業の研究」
- ◇ 井上 敬康 先生「自ら英語で表現しようとする生徒の育成」
- ◇ 黒木 亜紀 先生「望ましい食習慣を実践することができる学園生の育成」
- ◇ 松山 智洋 先生「自分の考えをしっかりと説明できる生徒の育成」
- ◇ 高瀬 詩史 先生「自分で健康を管理できる生徒の育成」
- ◇ 原口 朗 先生「自ら考え、生き生きと学習できる長距離走学習を目指して」
- ◇ 真方 悟史 先生「自分の考えを主体的に発言し、伝え合う児童の育成」
- ◇ 井上 愛 先生「言葉への興味・関心をもち、進んで活用することのできる児童の育成」
- ◇ 頼 篤子 先生「意欲的に学習に取り組む生徒の育成」
- ◇ 原口亜希子 先生「科学的な思考力・表現力の育成を図る理科学習の在り方」
- ◇ 岡本 理恵 先生「自分の考えを分かりやすく表現しようとする児童の育成」
- ◇ 米澤 実花 先生「小中一貫校における心に響く音楽づくり」
- ◇ 時松 尚也 先生「資料を読み取り、表現できる児童の育成」
- ◇ 成合 正和 先生「学習意欲を高め、児童が主体的に学習に取り組む算数科指導法のあり方」

平成29年度も終わりを迎えようとしています。幼小中一貫校「美郷北学園」として開校3年目の終了です。いろいろと課題も多い中、少しずつ学園の目指す方向性が明らかになりつつあることも事実です。子どもたちの自立を目指した地域のための学校として、教職員と保護者、地域が一体となって進んでいく姿をこれからも模索していきたいと思えます。

4月からは4年目の節目を迎えます。新しい美郷北学園をどのように形づくっていくか・・・今後3年間の新たなステップをお示したいと考えております。今後ともご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、この1年間のご愛顧に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

美郷北学園 校長 末廣恭雄

